

事業名	感染症対策費			財務コード	090903
細事業名	感染症患者措置事業費				
担当部課室	福祉保健 部	健康増進 課	感染症 担当 (内線)	3511	

調書番号	43
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 H11 年度 ~ 終期 未定 年度		
実施主体	補助(感染症指定医療機関)、委託(全日本患者輸送)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	①感染症指定医療機関 ②1類、2類感染症及び新型インフルエンザ等(重大な感染症)の感染症患者	①感染症病床の維持、管理。 ②感染症指定医療機関への入院を勧告。	①、②重大な感染症のまん延防止
内容	○重大な感染症患者を移送する。(国補1/2) ○感染症指定医療機関の感染症病床の運営費を補助する。〔補助基準額：第一種 1床当たり450万円、第二種 1床当たり150万円〕(補助率10/10 国1/2 県1/2) ※第一種感染症指定医療機関(県立中央病院)、第二種感染症指定医療機関(市立甲府病院他5病院) ○入院勧告を行った感染症患者(結核を除く)の入院医療費の補助する。(扶助費・委託料) (国補3/4)		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	感染症指定医療機関への補助	目標	7	7	7	7	7	7
		実績(見込)	6	6	6	6	6	6
		達成率	86%	86%	86%	86%	86%	86%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	重大な感染症(感染症法に基づく第1種又は第2種感染症、新型インフルエンザ等感染症)のまん延防止 ※重大な感染症の発生なし	目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		13,899	14,169	17,960	15,457	16,478	18,823	17,165

III 事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価 感染症指定医療機関7病院のうち、6病院に感染症病床の維持管理に必要な運営費を補助できた。他の病院は感染症病床を一般病床として利用した実績があり、維持管理に必要な費用分の医療収入があったため、補助は不要であった。 重大な感染症の発生がなかったため成果指標の評価は出来ないが、重大な感染症のまん延を防止するための専用の病床を確保出来ているため活動指標はbとした。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	重大な感染症が発生したときの危機管理のための予算として有効である。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度あ	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (現行の医療機関の課題を抽出し、重大感染症発生時の医療体制の見直しを図る余地がある)		
その他	説明			
見直しの必要性	有	感染症指定医療機関や医療団体の代表等からなる協議会を創設し、重大な感染症が発生した場合の医療体制の充実を図るため、現行の第2種感染症指定医療機関のあり方の検討を行っている。		

V 見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

拡大	説明	専門家等からなる協議会の意見を踏まえ、第2種感染症指定医療機関の必要な設備整備の整備を行う。
----	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。